

市長	副市長	局長	次長	係長	係	記録

【所属名：ガス水道局】

【会議名：糸魚川浄化センター環境保全会議】

開示

一部開示

(理由:条例第 条第 号 該当)

不開示

時限不開示 (開示: 年 月 日)

会 議 録

作成日 令和3年12月23日

日	令和3年12月17日(金)	時間	13:30 ~ 16:00	場所	糸魚川浄化センター2階会議室
件名	現地視察（青海浄化センター・糸魚川浄化センター・竹ヶ花ガード下）				
	協議事項 (公開) 議事 ① 現地視察のまとめ ② 竹ヶ花ガード下臭気対策について ③ 糸魚川浄化センターの環境保全に関する協定書、附属覚書の変更について				
出席者	【出席者】 11人 金子会長、比護委員、吉岡委員、水島委員、小林委員、 木村委員、田村委員、樋口委員、岩崎委員、木嶋委員、吉田委員				
	【事務局】 5人 樋口局長、鍋島係長、田代係長、池滝主査、林主査				
	【同席】 3人 糸魚川二幸				
	傍聴者定員	無	傍聴者数	0人	

会議要旨

【第1部】現地視察

- 1 開会 (13:30)
- 2 あいさつ
- 3 視察の説明

青海浄化センター・糸魚川浄化センターにて処理後とさらに塩素投薬後の水の臭気を確認。
竹ヶ花ガード下にて臭気状況を確認した。

【第2部】机上会議 (14:35~)

- 4 議事
① 現地視察のまとめ (説明:事務局)

【質疑・意見】

- (委員) 塩素投薬後の所から放流渠の間で臭いが発生している。
(会長) この間に臭いの原因があるのではないか。

- (事務局) 暗渠の部分に問題があるのではないかと考えている。放流渠では塩素の反応が無い。管の中で塩素が消費されている。管の中にぬめりがあり、管内の藻みみたいなものが悪さをしているのではないかと。
- (委員) 放流渠出口辺りが一番臭いを強く感じた。(塩素混和池と放流渠の間にある) グレーチングでは意外に臭いがしなかった。建設当初からの臭いの資料があれば比較してもらいたい。
- (委員) 暗渠の管が満杯になることはあるのか。
- (事務局) 満管になることはない。
- (会長) 昔の臭気のデータはあるのか。
- (事務局) どこまであるかは不明である。
- (会長) 探して報告してもらいたい。
- (事務局) 管内の掃除など、できることからやらせてもらいたい。

② 竹ヶ花ガード下臭気対策について (説明：事務局)

【質疑・意見】

- (委員) 内水面の立場から、塩素濃度は放流先水路で影響はないのか。
- (事務局) 塩素濃度を上げられるか、影響のないように消費する塩素の量を勘案して進めたい。
- (委員) 暗渠的なやり方の場合、先の方で臭いがする心配はないのか。
- (事務局) あると思う。その辺りは皆さんの意見を聞いてみなければならない。
- (委員) 放流水路の開渠だが、北側の方ではあまり臭わない。早く空気に触れさせる必要があるのではないかと。
- (会長) やって見ないとわからないという所があると思う。
- (委員) 今朝行って臭いを嗅いでみたが、気象条件、特に風の影響が大きい。
- (委員) 放流渠の蓋は恒久的なものにするのか。下流側に影響があった場合に外せるのか。
- (事務局) 実施する場合は、試験的なもの、シート状のものでやってみたい。
- (会長) まずは掃除のところから。あとは研究を進めてもらいたい。

③ 糸魚川浄化センターの環境保全に関する協定書、附属覚書の変更について (説明：事務局)

【質疑・意見】

- (委員) 下水処理が機能し、水質も良くなった。臭いの問題だけが残っているという状況である。報告を受けるだけの話であれば年1回でもいいのではないかと。
- (委員) 年1回開催に賛成する。
- (会長) 協定を変えないで運用でということを進めていいか。
- (委員) それはまずいと思う。2回を1回にする理由がしっかりとしていないといけない。
- (事務局) 当初は、初めての下水処理施設であることや周辺の環境整備を控えていたため2回開催となっていたが、今では整備も終わりこれまで水質事故もなく、地元の信頼を得られてきたと思われるので、1回としたいもの。
- (会長) 改定をどうするのか。
- (委員) 次の時に提案してもらえればいい。

(事務局) 次回に間に合えば出させてもらいたい。

(委員) 市長と振興協議会の話をきちんと進めて出してもらいたい。

(委員) 臭いの対策について、どう行って結果はどうなったのか、報告をもらいたい。

5 閉会 (16 : 00)